

保護者に気になる姿を伝える文例集

対面・電話・連絡帳別テンプレート

このPDFの使い方

この文例集は、保護者に子どもの気になる姿を伝えるときに使いやすい言い方をまとめたものです。文例はそのまま使うより、子どもの実態・保護者との関係性・学校の方針に合わせて言葉を調整してください。目的は、保護者を責めることなく、子どもを支えるために学校と家庭で一緒に考えることです。

基本姿勢：責めるのではなく、相談する。指摘するのではなく、支援につなげる。家庭に返すのではなく、学校での見立てと手立ても伝える。

1. 共通の基本型

対面・電話・連絡帳のどの方法でも、基本の流れは同じです。気になる姿だけを切り取るのではなく、できていること、前後の流れ、担任としての見立て、学校での手立て、保護者への相談をセットにします。

順番	伝える内容
1	できていること・頑張っていることを伝える
2	普段、学校で行っている支援を伝える
3	子どもの姿を時系列で伝える
4	その中で気になる姿を共有する
5	担任としての見立てを伝える
6	今後、学校で行う手立てを伝える
7	保護者の話を聞く

基本テンプレート

最近、〇〇の場面では落ち着いて取り組める時間が増えてきています。一方で、　　の場面になると、気持ちが大きく動き、□□という姿が見られることがあります。学校では、□□の前に見通しを確認したり、必要に応じて短い休憩を入れたりしながら支援していきます。ご家庭でも似たような場面があるか、また、これまでうまくいった声かけなどがあれば教えていただけるとありがたいです。

注意点

文例は「正解の言葉」ではありません。子どもの実態、保護者との関係性、緊急度、学校としての対応方針に合わせて調整してください。怪我・安全・重大なトラブルに関わる場合は、担任だけで抱えず、学年主任・特別支援教育コーディネーター・管理職と共有して対応します。

2. 対面で伝える文例

対面は、相手の反応を見ながら言葉を調整できる方法です。保護者の表情や受け止め方を確認しながら、やわらかく相談の形にしていきます。

授業中の集中が続きにくい場合

最近、授業の入りはかなり落ち着いてきていて、最初の活動にはスムーズに参加できることが増えていきます。ただ、後半になると少し疲れが出るのか、手が止まったり、席を離れたくなったりする場面があります。学校では、途中で短い休憩を入れたり、問題に入る前に見通しを伝えたりしながら様子を見ています。ご家庭では、疲れたときや難しいことに取り組むとき、似たような様子はありますか。

友達への言葉が強くなる場合

友達と関わりたい気持ちはすごく出てきています。自分から声をかける場面も増えています。ただ、思いが強くなったときに、少し言葉が強くなってしまふことがあります。学校では、困ったときに使える言い方を一緒に確認しているところです。ご家庭で、気持ちが強くなったときに落ち着きやすい声かけなどがあれば、教えていただけるとありがたいです。

切り替えが難しい場合

好きな活動には集中して取り組んでいます。一方で、その活動を終えて次に移るときに、少し時間が必要な場面があります。急に切り替えるよりも、事前に「あと何分で終わりです」と見通しを伝えると動きやすいようです。ご家庭でも、切り替えのときにうまくいっている方法があれば、学校でも参考にしたいです。

予定変更で不安定になる場合

いつもの流れが分かっている日は、安心して過ごせる時間が増えています。ただ、急な予定変更があると、不安が強くなって教室に入りにくくなることがあります。学校では、できるだけ早めに予定を伝えたり、変更後の流れを一緒に確認したりしています。ご家庭でも、予定が変わるときに気をつけていることはありますか。

面談につなげたい場合

今日のことで大きな問題というわけではないのですが、同じような場面が何度か見られています。学校でも支援を試しているところですが、ご家庭での様子も伺いながら、今後の関わり方を一緒に考えられたらと思っています。お手数をおかけしますが、一度お時間をいただいて、学校でご相談させていただくことはできますでしょうか。

3. 電話で伝える文例

電話は早く共有できる一方で、相手の表情が見えません。また、学校からの電話だけで身構える保護者もいます。まず「今の状態」と「電話の目的」を伝え、安心できる情報を置いてから本題に入ります。

授業中に席を離れた場合

今日、少し気になる場面がありましたので、共有でご相談でお電話しました。まず、今は落ち着いて過ごせていますので、その点をご安心ください。〇〇の時間、前半は落ち着いて参加できていたのですが、途中で問題が難しくなったあたりから手が止まり、その後、席を離れる場面がありました。少し休憩を入れると落ち着き、最後は活動に戻ることができました。学校では、難しい問題に入る前に声をかけたり、助けを求める言葉を確認したりしていこうと思っています。ご家庭でも似たような様子があれば教えていただけますか。

友達とのトラブルがあった場合

今日、友達との関わりで少し行き違いがありましたので、共有でお電話しました。怪我などはありません。休み時間に〇〇さんと遊んでいたとき、思いがずれる場面があり、そのときに少し強い言葉が出てしまいました。その後、時間を置いて話をすると、本人も少し落ち着いて振り返ることができました。学校では、困ったときの伝え方を一緒に確認していこうと思っています。ご家庭でも、本人から話が出るかもしれませんので、もし話題に出たら聞いていただけるとありがたいです。

気持ちが崩れた場合

今日、気持ちが大きく崩れる場面がありましたので、共有とご相談でお電話しました。今は落ち着いて過ごせています。〇〇の活動の途中で、予定と違うことがあり、そこから不安が強くなったようです。少し静かな場所で休憩し、見通しを確認すると、最後は落ち着いて戻ることができました。学校では、予定変更があるときには早めに伝えるようにしていきます。ご家庭でも、予定が変わる場面で似たような様子がありますか。

家庭での様子を聞きたい場合

学校では、〇〇の場面で少し不安が強くなる様子が見られています。現在は、事前に見通しを伝えたり、必要に応じて短い休憩を入れたりしながら支援しています。ご家庭でも似たような場面があるか、また、うまくいっている関わり方があれば教えていただけるとありがたいです。

面談につなげたい場合

今日のことで大きな問題というわけではないのですが、同じような場面が何度か見られています。学校でも支援を試しているところですが、ご家庭での様子も伺いながら、今後の関わり方を一緒に考えられたらと思っています。お手数をおかけしますが、一度お時間をいただいて、学校でご相談させていただくことはできますでしょうか。

4. 連絡帳で伝える文例

連絡帳は、情報が残ることが大きな特徴です。保護者が後から読み返せる一方で、表情や声のトーンは伝わりません。気になる姿を書くときは、できていること、前後の流れ、今後の支援をセットにして、断定や強い表現を避けます。

授業中の集中について

今日は、〇〇の時間の前半は落ち着いて参加することができました。問題に取り組む姿も見られました。一方で、後半になると少し疲れが出たようで、手が止まる場面がありました。声をかけると再び取り組むことができたので、学校では途中で短く見通しを確認しながら支援していきます。ご家庭でも、疲れたときの様子などがありましたら教えていただけるとありがたいです。

切り替えについて

今日は、好きな活動に集中して取り組むことができました。一方で、次の活動に移る場面では少し時間が必要な様子がありました。事前に終わりの時間を伝えると動きやすかったため、学校でも見通しを持てるように声をかけていきます。ご家庭でも、切り替えの場面でうまくいっている方法がありましたら、参考にさせていただければと思います。

友達との関わりについて

今日は休み時間に友達と関わる姿がありました。自分から声をかけることもできていました。一方で、思いがずれた場面で、少し強い言葉になってしまうことがありました。その後、時間を置いて話をすると落ち着いて振り返ることができました。学校では、困ったときに使える言い方を一緒に確認していきます。

予定変更への不安について

今日は予定が一部変更になった場面で、不安が強くなり、活動に入りにくい様子がありました。変更後の流れと一緒に確認すると、少しずつ落ち着いて参加することができました。学校では、予定変更があるときにはできるだけ早めに見通しを伝え、安心して活動に入れるよう支援していきます。

家庭での様子を聞きたい場合

学校では、〇〇の場面で少し不安が強くなる様子が見られています。現在は、事前に見通しを伝えたり、必要に応じて短い休憩を入れたりしながら支援しています。ご家庭でも似たような場面がありましたら、様子やうまくいっている関わり方を教えていただけるとありがたいです。

5. 避けたい言い方と言い換え

気になる姿を伝えるときは、子どもの性格や保護者の責任に見える表現を避けます。できるだけ、場面・行動・支援の方向性で言い換えます。

避けたい言い方	言い換え例
落ち着きがありません	授業の後半になると疲れが出やすく、席を離れて休憩したくなる場面があります。
わがままです	自分の思いが強くなったときに、別の考えを受け入れるまで少し時間が必要な様子があります。
友達に乱暴です	友達と思いがずれた場面で、強い言葉や動きで伝えてしまうことがあります。
注意しても聞きません	声かけだけでは切り替えにくい場面があります。時間を置くと落ち着いて話を聞けることがあります。
家庭でも指導してください	ご家庭でうまくいっている声かけや関わり方があれば、学校でも参考にさせていただきます。

避けたい言い方	言い換え例
困っています	学校でも支援の仕方を考えているところです。ご家庭での様子も伺いながら、一緒に考えたいです。

6. 保護者の話を聞く質問例

保護者対応では、学校から伝えるだけでなく、保護者の話を聞くことも大切です。家庭での姿や、これまでうまくいった関わり方を聞くことで、学校での支援の手がかりになります。

聞きたいこと	質問例
家庭での様子	ご家庭では、同じような場面はありますか。
うまくいく声かけ	これまで、こういう場面で落ち着きやすかった声かけはありますか。
苦手な関わり	逆に、こういう声かけはしんどそうだった、というものはありますか。
安心しやすい環境	本人が落ち着きやすい場所や過ごし方はありますか。
本人の受け止め	学校でのことを、ご家庭で話すことはありますか。
支援の方向性	学校ではこのように支援してみようと思っていますが、ご家庭の様子から見て気になる点はありますか。

まとめ

気になる姿を伝える目的は、保護者を責めることではありません。子どもの現状、担任としての見立て、学校での手立てを共有し、保護者の話も聞きながら、次の支援につなげることです。良い姿だけでなく、気になる姿も丁寧に共有することで、学校と家庭が同じ方向を向きやすくなります。